

第33回甲府市地域自立支援協議会全体会 議事録

日時 令和4年4月22日

10:00～

場所 甲府市役所4階 防災対策室

<参加委員>

全体会 大塚ゆかり会長

定例会 千野由貴子会長

鈴木茂友委員 渡辺花子委員 久保育枝委員 内藤功洋委員 齊藤 将委員 津金永二委員 佐田弘和委員 岡田雅人委員 杉本 修委員 土屋洋一委員 小山田貴之委員 風間俊宏委員 保坂辰男オブザーバー 飯室正明オブザーバー

<事務局>

甲府市役所：望月福祉保健総室長 原山障がい福祉課長 雨宮課長補佐 岡課長補佐 武田係長
保坂係長 下山係長

甲府市障害者基幹相談支援センターりんく：深澤係長 保坂相談員

甲府市地域生活支援拠点コーディネート事業らいぶ：廣野コーディネーター

司会 原山障がい福祉課長

議長 大塚ゆかり 会長

【次第】

- 1 はじめのことば
- 2 福祉保健部福祉保健総室長あいさつ
- 3 全体会委員及び担当職員の紹介
- 4 会長及び副会長の互選
- 5 会長あいさつ
- 6 議事
 - (1) 甲府市地域自立支援協議会の役割と組織について 資料1
 - (2) 甲府市地域自立支援協議会定例会委員の指名について 資料2
 - (3) 相談支援事業所のサポート体制について 資料3
- 7 その他

【会長及び副会長の互選】

甲府市：本協議会設置要綱第5により、会長及び副会長は互選で定めるとなっているが、ご意見を伺いたい。ご意見がなければ事務局一任とさせていただきたいが、いかがか。

各委員：異議なし

甲府市：事務局案として、会長は大塚ゆかり委員、副会長は鈴木茂友委員を選出したい。

会長及び副会長の選任について、委員からは異議はなく、出席委員全員の承認を得た。

【会長あいさつ】

【議事】

(1) 甲府市地域自立支援協議会の役割と組織について

甲府市：資料1について説明

オブザーバー：昨年からの権利擁護部会の構造を変えるという議論があったと思うが、どのようになっているか確認したい。

定例会前会長：権利擁護部会は、名称のうえでは継続審議となっているが、部会の構造については現在と大きな変更はない。当事者への声かけに始まり地域課題の抽出を行い、各部会に振る形になると思う。ピアサポーターの役割も検討していく必要があると思う。

全体会会長：以前から気になっていたが、同じ委員でも報酬面で全体会は無償、定例会は無償であり、待遇に差がある。実務で頑張っているのは定例会であるため、その部分をどう評価していくのか、市の予算の都合もあろうが、金銭面での検討をお願いしたい。

委員からは異議はなく、出席委員全員の承認を得た。

(2) 甲府市地域自立支援協議会定例会委員の指名について

甲府市：資料2について説明

事務局案として、定例会会長は千野由貴子委員、副会長は横森修委員を選任したいが、本協議会設置要綱第3の3により、指名は全体会会長が行うとされているため、全体会会長からのご指名をお願いしたい。

全体会会長：事務局案のとおり、定例会会長に千野由貴子委員、副会長に横森修委員を指名する。

委員からは異議はなく、出席委員全員の承認を得た。

(3) 相談支援事業所のサポート体制について

定例会会長：資料3について説明。

委員：資料3でふれている「本人中心の支援を実現するために」も情報提供としていただきたい。

委員：資料3の説明を聞き、相談支援専門員の不足している状況を知らなかった。セルフプランが大変だということは理解しているが、障がい福祉サービスを詳細まで把握していなかった。自分の所属する法人は成年後見を取り扱っているが、障がいのある方の後見について、理解しきれていないこともあり断ることもある。今後も勉強していきたいと思う。

委員：事業所のサポートと並行して当事者の支援について「にも包括」という面でも直近の課題として感じているが、全体会会長はどのようにお考えか伺いたい。

全体会会長：利用者に対し、包括的にかつ密なる体制づくりをしていくためにも今の体制だけでなく地域、行政、医療機関、事業所、ピアサポーター、家族等との重層的な支援体制づくりが必要だと思う。

資料3に基づいて、山梨県自立支援協議会へ提言を行うことについて、委員からは異議はなく、出席委員全員の承認を得た。

【その他】

甲府市：令和3年度報酬改定に伴う国の基準省令改正に伴う市条例改正の概要を説明。

また、本協議会は市の要綱で定められた協議会であるため会議は公開であり、議事録はホームページに掲載する。

全体会会長：甲府市障がい者福祉計画の策定において、本協議会から意見を申し上げている。新たに委員になられた方もぜひ計画に目を通していただきたい。

全体会会長：全ての協議はこれで終了する。

会議終了